

指定管理施設評価シート

施設名称：北上市みちのく民俗村	
記入者名：（株）展勝地 指定管理事業部 和賀匡彦	
指定管理者記入年月日:令和7年4月4日	所管課記入年月日:令和7年4月7日

令和6年度		A欄	B欄	C欄
項目	主な視点	実施内容 (項目を達成するための具体的な活動内容)	指定管理者評価 (数値には○印による5段階評価を、<+>には良かった点・アピールポイントを、<->には反省点を記載すること)	所管課意見
管理の基本方針	施設設置目的との整合性	展勝地の自然の中に溶け込んだ文化財として、違和感なく受け入れられつつも、園内にある希少植物などの保存も考えた草刈りや整備を心掛け、自然と共に生きた時代を再現できるような環境整備に努めた。	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い <-> 旧暦による年中行事は、実施内容、方法を工夫しながら企画しているが、どうしてもマンネリ感は否めず、参加者も固定客に固まりつつある。 来園者に四季のいろどりとして花や樹木によって感じさせる環境整備ももっと工夫が必要だと感じる。	良い 5 - ④ - 3 - 2 - 1 悪い 古民家等施設の維持管理について、文化財としての価値を踏まえ実施された。 年中行事は、元々、毎年同時期に同じ行事を行うものであることから、マンネリは致し方ない部分があり、その文化を途切れさせず伝えているという側面において評価できる。
	市民の平等な利用	来園者には何ら制限なく、施設利用に関しても可能な限り備品の貸出し等を行い、利用に際し利便を図っている。小学校の校外学習や県外中学校の修学旅行利用、他団体利用者に際しても希望に沿ってガイドボランティアの手配を行い、施設の重要性について理解を促している。	<-> 特になし	来園者、利用者が施設を使いやすいよう、できる限りの支援、協力がされている。
利用促進	具体的な方策、サービスの向上等	施設の利用やイベントの打診があった際には、利用者の立場に立ち、可能な限り備品貸し出しや準備作業、会場表示看板作成などに協力するなど、利用しやすい環境づくりを行っている。 施設内での[体験事業]に対する要望が多くあり、費用や人材確保など計画していかなければならない。	良い 5 - ④ - 3 - 2 - 1 悪い <+> 来園機会の創出として従来実施してきた自然観察会やお菓子作り教室、バードカービング教室に、新たにフラワーアレンジメント教室を加え、より広いジャンルに興味を持つ方々に対応している。園内の様子や主催イベント、各種教室をより知っていただくため、youtubeで動画を配信したり、インスタ、XなどのSNSを活用してより多くの方々の目に触れるよう努めた。 交通弱者の来園促進に関する対策を、所管課と協議していきたい。	良い ⑤ - 4 - 3 - 2 - 1 悪い 来園者、利用者が施設を使いやすいよう、できる限りの支援、協力がされている。 SNSでの情報発信により、施設の魅力やイベント情報の周知のほか、気象警報発令等による臨時休館情報等も、即時発信できている。
	地域住民や関係団体との連携	地元立花地区とは直接的な連携はないが、交流センターとの情報交換に努めている。	<+> 口内地区交流センターとのコラボ企画を来年度実施に向けて調整中であり、今後、他地区交流センターとの連携事業を模索していきたい	地元交流センターとは情報交換をしながら事業を進めている。 他地区交流センターとの連携も進めており、当市を代表する観光スポットとして取組まれている。
施設管理	適正な維持管理	草刈等の園内環境整備について、自然観察会の講師と協議しながら、時期、エリアなどアドバイスを受けて実施している。 園内修景のため耕作している田んぼについて、稲作経験者が退職したことにより素人で行っている状態で、近隣の耕作者からも協力を得られず苦労している。	良い 5 - 4 - 3 - ② - 1 悪い <-> 池周りの竹柵など従来廉価で委託していた園芸業者の廃業により、同内容の作業を委託可能な業者選定が進まず、整備に遅れが生じたりした。 また田んぼ耕作も不完全で、修景に相応しくない状態にある。	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い 園内の環境整備、古民家等の建物について、概ね適切に管理されている。 田んぼでの耕作は、施設を維持管理するほかに稲作のノウハウが必要であり、苦慮している様子。
	経費節減等効率的な管理	施設や設備の小破修理や、危険を伴わない小枝や立木の伐採などは職員により対応しており、極力、外部業者への委託を抑えている	<-> 経費の節減は命題としながらも、経年劣化による設備修繕に多くの費用がかかっている。	設備修繕額が増加する一方で、極力自前で対応し、経費削減に努められている。
収支計画	管理運営計画との整合性	前年度途中の退職者の業務を補完する職員補充がうまくいかず、本社からの応援体制をとっているが、人件費がかさんでいる。 経年劣化による設備器具等の故障により、突発的な修繕費の支出が見受けられる。	良い 5 - 4 - 3 - ② - 1 悪い <+> 特になし	良い 5 - 4 - 3 - ② - 1 悪い 特になし
			<-> 固定費を除き、業務委託や修繕など、年度により計画どおりに予算執行が出来ていない。	施設全体に経年劣化が進み、計画通りの運営が難しくなっている。
実施体制	職員構成や職員配置	前年度途中の退職者の業務を補完する人材が見つからず、整備面での人材不足は否めない。ただし、若年層の入職により情報受発信やイベント実施などのソフト面では頗る充実している。	良い 5 - ④ - 3 - 2 - 1 悪い <+> 若い世代の成長が著しく、イベント管理や業務管理にも精通してきており、課題として園内施設設備管理の人材の充実が求められる。	良い 5 - ④ - 3 - 2 - 1 悪い 施設管理に関する人材不足が見受けられるが、職員の得意分野を生かした情報発信やイベントが実施されている。
サービスの向上 (要望や苦情等への対応)	利用者ニーズに対する対応	自然観察会について、固定メンバーについてはメンバー内で受付を行うなど会の独り立ちしたため、参加募集型の別事業を立ち上げることが出来た。 担当課の働きかけによって入口に飲料自動販売機が設置されたため、利用者へのサービス向上が図られた	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い <+> 特になし	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い 特になし
	クレーム対応の適切さ	特にクレームは寄せられていない。	<-> 前年度から引き続いてイベントやワークショップ参加者以外からのニーズやクレームを十分に受けられる仕組みづくりを行うことが出来なかった	引き続き、クレームのない対応を期待する。
危機管理対策	危機管理体制の確立	豪雨による博物館前の池の増水により施設が床上浸水した事案があった。緊急時に連絡系統図を整備しているが、外部委託している夜間宿直警備員が異常に気付かず、他所からの情報により職員が駆け付け対応した事案があった。	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い <+>	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い
			<-> 異常気象による自然災害に対応する体制や対応策について、近隣施設の博物館や担当課も交えながら構築する必要性を感じた	気象警報発令時、地震発生時等、指定管理者においては業務管理責任者の陣頭指揮により初動の対応願いたい。
情報管理	個人情報保護対策	参加希望者を募って行う園内イベントも増えていることから、個人情報の管理により一層のセキュリティ対策が必要であり、現在の対策を堅持する。	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い <+> 特になし	良い 5 - 4 - ③ - 2 - 1 悪い 特になし
			<-> 各種教室やイベント参加者の個人情報を扱う職員にはリスクを十分に理解させるよう研修を行う必要がある	引き続き、情報漏洩等の無いよう運営願う。